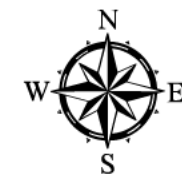


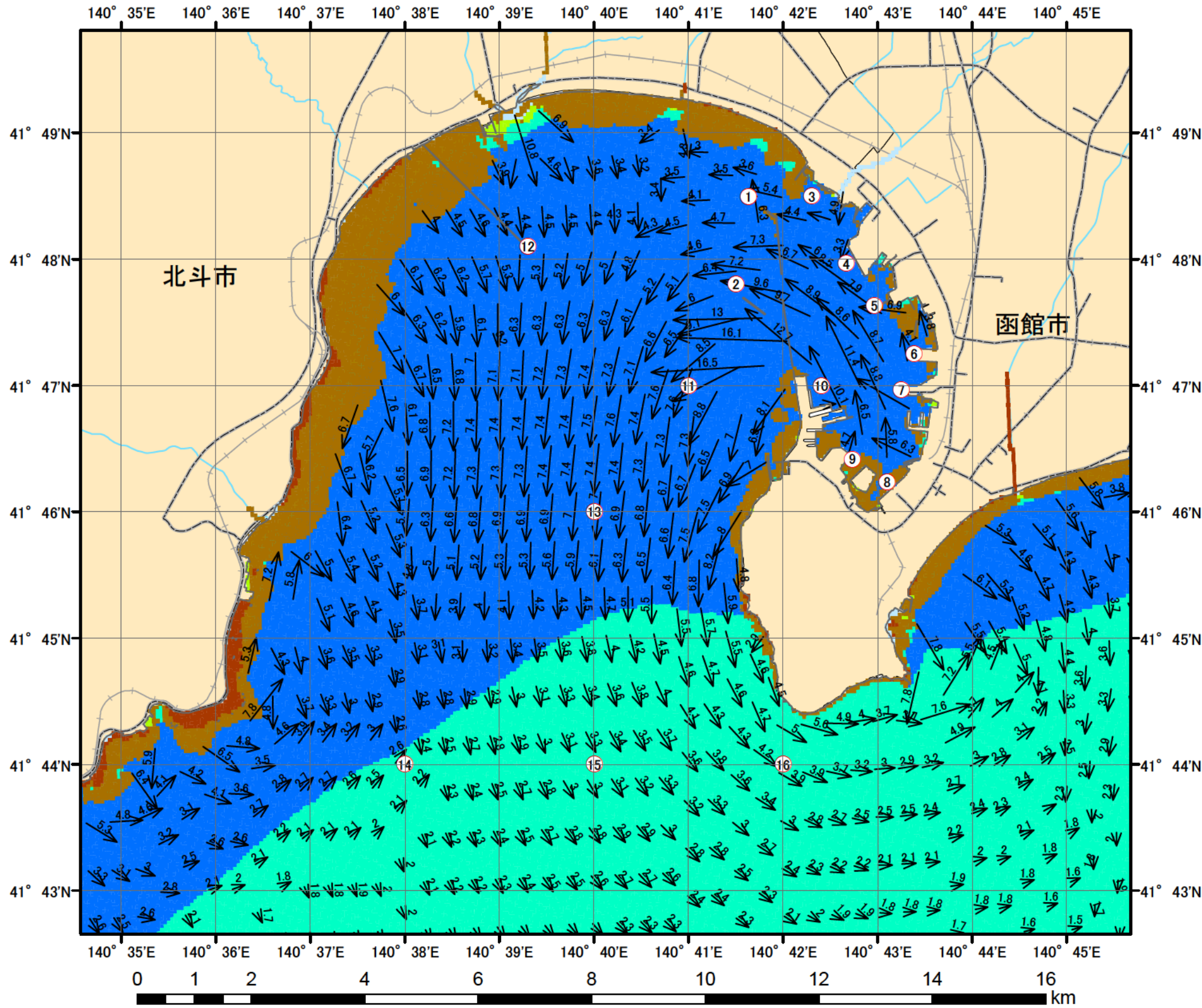
函館港 津波防災情報図 (引潮図)

日本海溝(三陸・日高沖)地震

計算条件: 最低水面(零位)
 隆起量: 平均 -69cm(-82 ~ -55cm)
 Zo: 0.57m
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系: メルカトル図法
 測地系: 世界測地系 (WGS84)



凡例

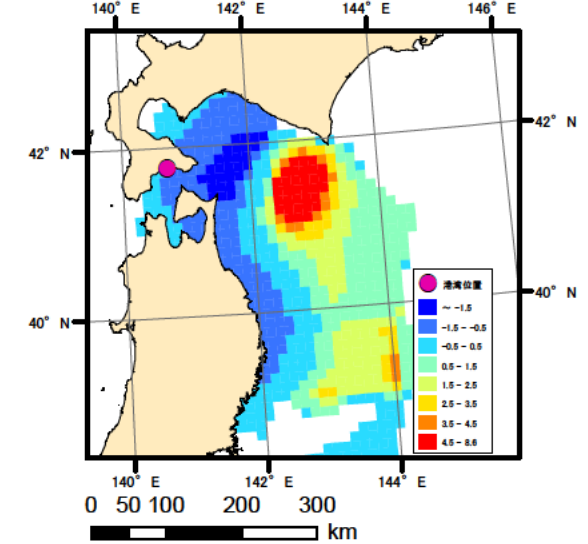
- 最大水位低下
- 5~最大9.6m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
- No. 経時変化図出力点
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



日本海溝(三陸・日高沖)モデル

モーメントマグニチュード Mw 9.1

本断層モデルは、内閣府の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」で検討されたモデルである。

作成機関: 海上保安庁
 防災情報図作成年月: 令和 3年11月 (初版)
 地形データ作成年月: 令和 3年 3月 (初版)

- 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
- 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 - ・海上保安庁が保有する水深データ
 - ・国土交通省国土数値情報 (ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2021年8月2日取得))